

# 飛ばないルーフィング

## 粘着キング

シートタイプ

不織布タイプ

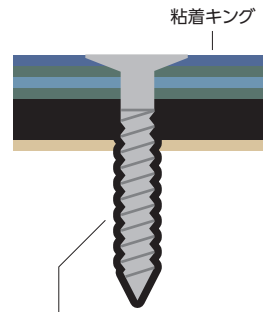
**NEW**  
遮熱タイプ

粘着式改質アスファルト 屋根2次防水材

「粘着キング」は、従来の防水シートの性能やコストを研究して新たに作られた商品です。粘着力が高く防水性能に優れた防水シートは以前からありましたが、コストが高いため一般住宅の屋根で使われることは殆どありませんでした。「粘着キング」は**安全性とコストパフォーマンス**という困難な課題を終え実現させた次世代の防水シートです。

### Point 雨漏りにも抜群の効果。釘穴止水性

一般的に多く使われるルーフィング（防水シート）はもともと釘しか想定していないため、ビスで穴を開けると穴が広がり防水性能が著しく下がってしまいます。「粘着キング」なら粘度の高いゴムアスファルトを約0.7mm使用。打ち込んだビスに、ゴムアスファルトのブチル成分がしっかりからみつき、さらに熱でゴムアスファルトが収縮するため、**抜群の釘穴止水性**を発揮します。そのため**太陽光発電パネルの設置施工**も安心です。

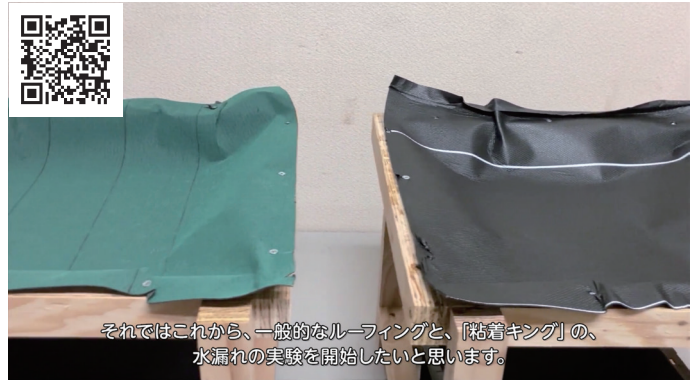


粘度の高いゴムアスファルト層がビスにからみつき、雨水の侵入を防ぎます。

### Point 安心の長期耐久性

屋根下地防水層である2次防水層は高い釘穴止水性を維持しなければならない最も重要な防水層です。「粘着キング」は改質ゴムアスファルトという長期的に硬化しにくい素材を使い、**従来の3倍近く耐久性**を向上させた素材を採用しています。

↓ 詳しい動画はこちらをご覧ください。



ルーフィング水漏れ実験 | 粘着キング (YouTube 限定公開)

### Point 低温時の施工性

今までのルーフィングは気温が下がるに従って、割れたり、亀裂が生じたりすることがありました。粘着キングは、改質アスファルト（ゴムアス）を用いることにより低温時でも**亀裂や割れを生じ難く**しています。

### NEW 暑さ対策用遮熱シート

### Point 遮熱と粘着の機能が1本で対応可能

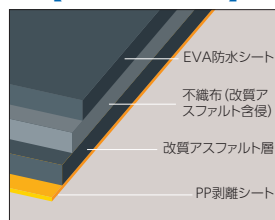
表面にアルミシートを貼る事により遮熱と防水の両方に対応する画期的な商品。屋根下で従来品に比べ-10℃~-15℃が期待できます。

### Point 施工安全性への配慮

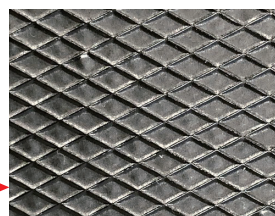
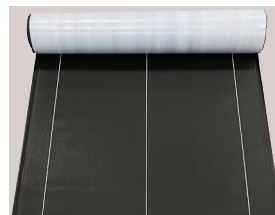
「粘着キング」シートタイプはシート面に**グリッ**加工を施すことにより滑りにくくなっており、滑りにくくする事で**施工性の向上や滑落等を予防**し安全に作業を進めることができます。

【構成図】

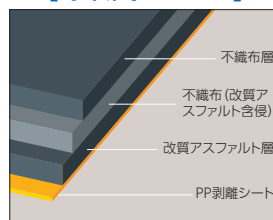
【シートタイプ】



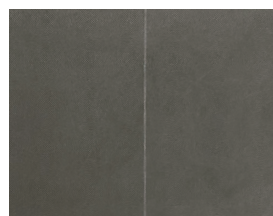
t=1.3mm



【不織布タイプ】

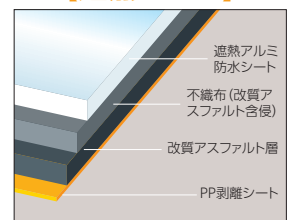


t=1.3mm



**NEW**

【遮熱タイプ】



t=1.3mm





# 台風にも強い優れた接着性

緩勾配の屋根やALC板の野地などには、粘着層付粘着キングが最適です。釘穴シーリング性の良好はもちろん、仮止めタッカー釘も不要になっています。貼り付けた直後なら簡単に剥がせて、再び貼り直すことができます。**貼り直し可能な粘着層付下葺材**です。剥離フィルムをはがすだけで接着し、軟化ズレや風圧による飛散の心配がまったくありません。粘着キングは**飛ばないルーフィング**です。万一台風などで瓦礫が飛ばされたとしても、しっかり接着している粘着キングが雨水の侵入を防止しますので、ブルーシートなどを掛ける必要はありません。

製品構成		シートタイプ	不織布タイプ	NEW 遮熱タイプ
長さ		16m		
幅		1m		
重量(剥離フィルム含む)		23kg		
厚さ(剥離フィルム含む)		1.3mm		
引張強さ N/cm	長手方向	115	120	129
	幅方向	78	122	84
引裂強さ N	長手方向	49	55	36
	幅方向	54	78	44
耐折り曲げ性(長手方向)	10個とも表面にき裂を生じなかった			
耐熱性	ずれ落ち、発泡、浸透しているアスファルトのしみ出しなどはなかった			

※数値は代表値であり、実際の製品寸法と異なる場合があります。

## ■ 10年間の防水瑕疵保険付き

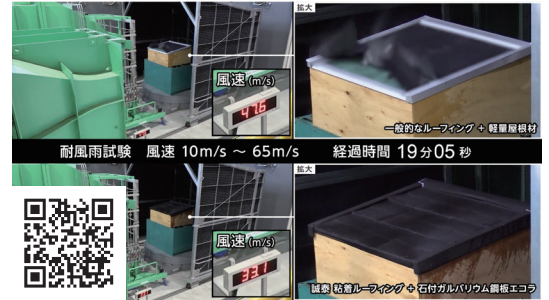
雨漏れにより家財道具などに被害が出た場合も対象になります。



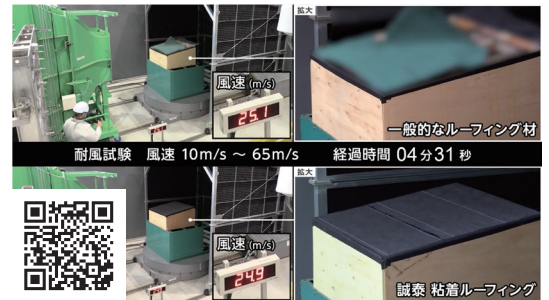
## ■ 台風にも強い

動画はこちらをご覧ください。

※建材試験センターにて実験



【比較】一般的なルーフィング+軽量屋根材・粘着キング+石付ガルバリウム鋼板エコー【短縮版】



【比較】一般的なルーフィング・粘着キング【短縮版】

## 釘穴シーリング性

### 試験方法

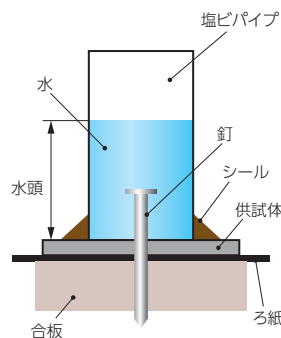
「ARK04<sup>s</sup>-03：2006改質アスファルトルーフィング下葺材による」

### 試験結果

漏水頻度=漏水個数/試験水頭 (n=10)

	粘着キング
リング針	0 / 10

### 【静水圧法試験】



図のように30mmの水頭までパイプ内に色水を入れる。24時間静置後、貫通釘を通した漏水有無を確認する。貫通釘を通した漏水が認められない場合は、水を取り除き、更に24時間静置し、釘穴部分の下地の状況を確認する。漏水が認められないとは以下の1)および2)を満足した場合をいう。

- 1) 10個中8個以上、下地が濡れていないこと。
- 2) 貫通釘を通して下地裏面に漏水しないこと。

### 輸入元

株式会社 誠泰 JAPAN

〒480-1146 愛知県長久手市片平1丁目1105番地  
TEL.0561-64-5700 FAX.0561-64-5701

### 販売元

フォーム断熱株式会社

〒480-1146 愛知県長久手市片平1丁目1105番地  
TEL.0561-64-5700 FAX.0561-64-5701

### 取扱店